2019年9月18日

差枚	-1316枚	RANK	B

実戦機種

政宗2

実戦レポート

今回のホールで以前に入場抽選「1番」を引いた時は、リゼロを初打ちして、それがいきなり設定6だったんだっけ。あの日はずっと4だと思って打っていただけに、666ptが出て設定6が確定した時はビックリしたなぁ。
なぜそんな事を書いたかというと、今日も引いてしまったのである。「1番」を。うーむ、直近の入替はバラエティコーナーに2台ほど新台が入ったのみで、しかも新台といってもまっさらの最新台ではなく「政宗2」と「パチスロ猛獣王 王者の咆哮」なもんだから、若干悩ましい。

猛獣王は番組でも何回か打ったことあるし、高設定の挙動もほぼ頭に入っているから、設定推測はしやすい。対して、政宗2は完全なる初打ちだし、バラエティなので横の台との比較もできず、それ単体での設定推測をしなければならない。そもそも、これら2台ではなく、CBが超先行するいつものアノ機種を打つという選択もある。そんな中、オレが選んだのは…

政宗2だ！　そういえば数日前に行った別のホールでも、バラエティに政宗2が新台で入っていて、なんか楽しそうに青7をいっぱい揃えていたのを横目で見ながら1800枚負けたのだ。あの日も、良い番号であれば狙いたい候補の一つだったし、今日ここで打つチャンスが来たのは、何だか運命的じゃない？　それに、政宗シリーズといえば爆裂スペックで有名だし、もし今後旧基準の人気台が消えたホールで、再度メイン機種として扱われる日が来るならば、今のうちに体験しておいて損はないだろう。

とまぁ色々ともっともらしい理由をつけたが、単純に「打ってみたかった」というのが実は一番大きい。まずは初当り目指して、解析情報のページを穴があくほど眺めながら打ち始めると、投資1Kで強スイカから「高確率」→「青の小役が～」でリプレイを連発させ、難なくART。そして50G駆け抜け。あれっ、思ったより簡単じゃん。こんな台なの？　…ってか、猛獣王から早くもキリントロフィーが出てるじゃねぇか！　こりゃあ台選びを思いっきり間違ったか!?

何せ初打ちなので色々と不安になりながらも続行するのだが、「設定○否定」画面が多いのもこの台の特徴の一つ。小役確率・初当り確率ともに良好な中、「偶数設定示唆」「設定2否定」「設定4否定」などが次々と登場。え、これ、もしや…？　そして設定差の大きい通常天下道なども引きつつ、迎えた夕方過ぎ、ついにART終了画面で吉宗の姫が出現。せ、設定6だぁー！　でも最後まで全く勝てる気がしないまま、-1300枚で終了です。こんな台なの…？